

役員一覧

(2025年6月25日現在)

取締役

● 取締役在任年数(カッコ内は、上場時の沢井製薬での在任期間) ○ 取締役会出席回数(2024年度) ⚙️ 所有する当社株式の数



代表取締役会長兼社長(グループCEO兼グループCOO)

澤井 光郎

● 4年(21年) ○ 14／14回 ⚙️ 3,171,700株



取締役専務執行役員(グループCRO)

横田 祥士

● 2年 ○ 14／14回 ⚙️ 2,500株



社外取締役(独立役員)

小原 正敏

● 4年(2年) ○ 11／14回 ⚙️ 4,000株



社外取締役(独立役員)

三津家 正之

● 2年 ○ 14／14回 ⚙️ 100株



社外取締役(独立役員)

相徳 泰子 新任

● 新任

取締役 監査等委員

● 取締役在任年数 ○ 取締役会出席回数(2024年度) ⚙️ 所有する当社株式の数



取締役 監査等委員(常勤)

坪倉 忠男

● 新任※ ○ 14／14回 ⚙️ 3,200株

※ 2018年に沢井製薬の常勤監査役就任、2021年に当社の常勤監査役就任



社外取締役 監査等委員(委員長)(独立役員)

谷口 悦子 新任

● 新任



社外取締役 監査等委員(独立役員)

Nose Yukiyo 新任

● 新任

スキルマトリックス

	重要と考える理由	澤井 光郎	横田 祥士	小原 正敏	三津家 正之	相徳 泰子	坪倉 忠男	谷口 悦子	Nose Yukiyo
企業経営	企業理念に基づく意思決定や経営責任を負ってきた経験が、当社グループの持続的な成長を導く経営判断にとって重要	●	●		●	●			●
ヘルスケア	医薬品のみならず新規事業を含む本業拡大と企業価値向上のためには、幅広いヘルスケア分野の知見と経験が重要	●	●		●	●	●		●
グローバル	グローバル市場や規制を理解することは、国際的なサプライチェーンを含む事業運営のために重要		●	●		●			●
医学・薬学	総合ヘルスケア企業として、医療従事者や患者さんのニーズを捉え、品質向上を含む経営全般の価値創出に医学・薬学が重要		●		●	●			●
財務・会計・税務	企業価値を正確に算定し、資本効率の向上を図り、適正な納税を実現するため、財務・会計・税務の知見が重要						●	●	●
法務・リスクマネジメント	最適な意思決定で企業価値を最大化するため、ルールとリスクの見極めと判断を行う法務・リスクマネジメントの知見が重要			●					
サステナビリティ・ESG	当社グループの持続的成長と社会課題への対応をともに実現するためには、ESGの観点が重要			●	●				●

新任社外取締役メッセージ

持続的成長と信頼構築の強化に向けて

社外取締役(独立役員) 相徳 泰子

研究開発型グローバル製薬企業で培ってきた経験を活かし、サワイグループが医療における役割をしっかりと果たしていくため、独立役員の責務を果たしてまいります。また、科学の進歩を追求するとともに、高い倫理観を持ち、患者さん、医療従事者、社会から信頼される医薬品メーカーとして企業活動が継続できるよう、社外の視点からガバナンス体制の強化を支援します。さらに、環境への配慮、薬価改定、安定供給、高度化するジェネリック医薬品事業等の課題に対して、中長期的な解決策を取締役会メンバーと議論し、持続可能な収益モデルの確立に貢献します。

社員の多様性を活かし、新たに生まれる企業価値を可視化することで、変革への機運を高めていきたいです。

信頼される企業基盤の確立のために

社外取締役 監査等委員(独立役員) 谷口 悦子

公認会計士としての経験を踏まえ、中期経営計画「Beyond 2027」の土台である「信頼される企業基盤の確立」に尽力いたします。そのために、経済産業省が示す『『稼ぐ力』を強化する取締役会5原則』、特に、「マイクロマネジメントとならないよう留意しつつ、経営陣の意思決定過程・体制が、迅速・果断な意思決定に資するものとなるよう促す。」ことを強く意識し、中長期の視点で社外取締役としての役割を果たしてまいります。

また、今年度より本格的にスタートする「企業評価制度」への取り組みとその深化は、経営基盤の充実とグループ全体の成長に直結するものと捉えており、この一連の状況についてモニタリングしてまいります。

グローバル視点からの企業価値向上への貢献

社外取締役 監査等委員(独立役員) Nose Yukiyo

中小企業診断士・医師・日系アメリカ人のNose Yukiyoです。

世界50か国・25年の海外経験で培ったグローバル視点を活かし、日本企業に新しい風を届けたいと考えています。当社グループの未来を、より開かれた視点と創造的な発想で支える存在となるべく、努めてまいります。

CSR・ESGの取り組みはもちろん、社員と会社がともに成長し、社会に信頼される「未来志向の企業文化」を構築する後押しをしたいと考えています。

持続的成長とガバナンス強化に貢献し、22世紀に向けた価値創造に挑戦してまいります。